

[RICOH Printing Solution] IPSiO シリーズ導入事例

プリンターの効率的な運用をサポートする「Ridoc IO Gate」、「@Remote」を活用!

総合大学として、誰もが豊かに学べるキャンパスを目指して。
プリント環境を一新するシステムの導入で、学生の利便性も、
大学の管理効率も、飛躍的に向上。



導入の背景

ルーズリーフなど推奨されていない用紙の使用が
トラブルの原因でした。

広島県広島市。豊かな自然のなかにキャンパスを構える安田女子大学／安田女子短期大学様。大学4学部・短期大学2科からなる総合大学として、マスメディアや生活デザイン、薬学など多様な研究に取り組める環境を整えており、その充実した先進設備は、学生対象に行われた「2007年度大学満足度ランキング」で総合5位の高評価にもつながっている。こうした一環として、同大学はかねてから学生の資料作成などをサポートするプリント環境も充実させてきた。パソコンやインターネットを活用できる情報教室や図書館にはそれぞれ2~4台程度のカラープリンター（他社製）を設置していたが、常時3,000人を超える学生が活用するため、管理面での苦労は絶えなかったようだ。「以前は、出力枚数ある程度制限するため、自分が使う紙をその都度学生に売店等で購入してもらっていました。しかし、紙詰まり等の

故障が頻繁に発生する。原因を調べて分かったのですが、ルーズリーフやインクジェット紙など推奨外の用紙をプリンターにセットして使っていたんですね。毎朝、担当者が各教室を回りプリンターの点検をしていたのですが、それにも拘わらず1日の内に教室にある4台全てが故障してしまうこともありました」（施設部部長 中村 誠吾様）



課題

「目安箱」に届いた学生の声も後押しして、
プリント環境を一新。

頻発する故障、さらに以前はひとつのメーカーに固定せず機器を導入していたため、トラブル時の対処法がメーカーごとに異なるなど、修理の手配や管理業務に多くの時間が取られてしまっていた。さらに2009年度新入生から「ノートパソコン1人1台必携」の実施が決定していたため、それを見据えた新たなプリント環境構築が求められていた。そんな時、学内設置の「目安箱」に「情報教室のプリンターがすぐ故障して困っています」という声が学生から届いた。同大学は、これを学内のプリント環境再構築の後押しと捉え、計画推進に弾みをつけた。「まず第一に、プリンターの故障を軽減するため、ポイント制度を用いることを考えました。プリンター利用が可能なポイントを予め学生ごとに割り当てサーバーで管理しておき、学生が出力する度にポイントが消費されていくというシステムです。これなら学生に用紙をセットしてもらう必要がなくなるので、推奨外の用紙使用による紙詰まり等のトラブルを減らすことができます」（施設部 管財課 主事 濱本 隆様、以下濱本様）さらにノートパソコンが必携となったので、学生が好きな場所から印刷できるオンデマンド印刷環境の構築も必要だった。「オンデマンドにしない場合、出力するプリンターを間違えて指定してしまい出力物を取り忘れてしまうなど、学生のプライバシーに関わるトラブルの発生が懸念されました。そこで、その対策として学生証をICカード化し、各オンデマンドプリンターからの出力は、そのICカードをかざすことで利用できるという方式を用いることにしたのです」（濱本様）

解決

学生側の使いやすさ、大学側の管理しやすさを両立。

こうしたポイント制度による利用枚数管理やICカードを用いたオンデマンド印刷の実現など、学内プリント環境の大幅なレベルアップを目指す同大学にリコーがまず提案したのは、統合プリント管理システム「Ridoc IO Gate」だった。これは、活用規模の大きい学校等を対象に、効率的なプリント環境づくりをサポートし、管理者の負担軽減と利用者の利便性向上を両立させるシステムだ。ポイントを利用して印刷が行える「課金印刷システム」や、さまざまな場所からの出力を可能にし、ICカードとも連携する「オンデマンド印刷」など、同大学の要望に沿った機能が「Ridoc IO Gate」にパッケージされていた。リコーは、こうした同大学のニーズを満たす「Ridoc IO Gate」をシステム構築の基盤に、機器のリモート管理サービス「@Remote」を含む保守サービス「M-PaC」もセットで提案。こうしたトータルな提案が評価され、リコーの採用が決定。それに伴い同大学は、学内のプリンターを全てリコー製に移行した。導入したカラーレーザープリンター IPSiO SP C820M (45台) は、保守サービス「M-PaC」に対応したモデル。プリントした枚数に応じて料金が算出される保守サービスは、プリンターの利用状況に関係なく1台ごとに定額の保守料金を支払う従来の保守契約とは異なり、設置場所によりプリンター利用量が大きく異なる同大学のようなケースではランニングコストの削減に有効となる。さらにこの「M-PaC」のサポートのひとつである出力機器のリモート管理サービス「@Remote」も採用した。「リコープリンティングソリューション

の採用で飛躍的にプリンターの故障が少なくなりましたね。併せて提案いただいたM-PaCモデル、これも期待以上です。まずコスト面の利点としては、1台ごとに定額の保守料金を支払うのではなく利用量に応じた料金で済むところが良いですね。それと管理面では、@Remoteによるトナー自動配送サービスによりトナー発注などの手間を省くことができました。プリント環境がトータルに改善され大満足です」(濱本様)

今後の展望

学生の学びのスタイルが広がる大学づくりに向けて。

統合プリント管理システム「Ridoc IO Gate」に、「@Remote」のサービスも活用できる保守サービス「M-PaC」対応のプリンターを組み合わせることで、理想のプリント環境を実現した安田女子大学 / 安田女子短期大学様。機器管理の手間やコストが大幅に軽減できたこともそうだが、それ以上に、以前より学生の活動をサポートできていることを実感されているようだ。「今回のプリント環境一新により設置場所が増えたことで、学内のさまざまなスペースでプリンターを使えるようになりました。例えば、コンビニや学生が自由に集うホールにオンデマンド印刷用のプリンターを設置したのですが、皆さん気軽にノートパソコンを広げて出力しているんですよ。思った以上に学生の学びのスタイルを広げるお手伝いができたようで満足しています」(濱本様) 今後も学生からの声を細かくくみ上げ、より良いプリント環境を目指していきたいと語る同大学。素晴らしい大学づくりに貢献できるよう、リコーはこれからも同大学をサポートしていく。

お客様の声



出力枚数の管理がしっかりできるので、今後の運営に反映しやすいですね。

安田女子大学 / 安田女子短期大学 施設部 情報システム課 主務 田中 和範様

全プリンターをリコーで揃え、その機器管理にポイント制度やICカードを用いる体制を整えたことで、出力枚数をデータとして細かく把握できるようになり大変助かっています。以前は、メーカーを統一せずに機器を導入していたので、一部の機器の出力枚数から、全体の利用状況を類推するしかなく、正確な管理ができていませんでした。現在は、月ごと、学科ごと、授業ごとに出力枚数が分かるので、どの場所にプリンターを増設したら効果的かなど、今後の運営を進めて行く上での検討に非常に役立つと思いますね。



機器の性能に加え、人間力も含めたサービスがリコーの魅力ですね。

安田女子大学 / 安田女子短期大学 施設部 情報システム課 馬上 宗一郎様

今後入学してくる学生は、大学短大含めノートパソコンが必携予定となるので、数年もしない内にオンデマンド印刷の利用人数は3,000人を超えます。利用人数が増えることから、現在の7カ所に設置したオンデマンドプリンターを制御するリコープリント管理システムには、安定性の高さを期待しています。導入当初の運用に戸惑った際にも、営業担当の方が真摯に対応くださったので助かっています。機器の性能に加え、人間力も含めたトータルサービスがリコーの魅力ですね。

お客様プロフィール

安田女子大学 / 安田女子短期大学

- 事業内容: 私立大学
- 学園創立: 1915年
- 学生数: 3,900名
- 教職員数: 230名(非常勤教員は除く)
- 所在地: 広島県広島市安佐南区安東6丁目13番1号
- 導入機器・サービス: IPSiO SP C820M(45台)、Ridoc IO Gate、@Remote 他



株式会社リコー 東京都中央区銀座8-13-1 リコービル 〒104-8222

<http://www.ricoh.co.jp/IPSiO/>

お客様相談センター

リコー製品に関するお問い合わせは「お客様相談センター」で承っております。フリーダイヤルでお気軽にどうぞ。

FreeDial 0120-000-475

●受付時間: 平日(月～金) 9時～18時 / 土曜日9時～12時、13時～17時(日、祝祭日、弊社休業日を除く)

*通話料は無料です。

*音声ガイダンスに従い製品別の番号をプッシュトーンでお知らせください。

*トーン信号が出せない電話機でお掛けの場合は、そのまましばらくお待ちいただきますとオペレータに接続します。

*お問い合わせの内容は対応状況の確認と対応品質の向上のため、録音・記録をさせていただきます。

■リコーにご提供いただいたお客様の個人情報の取り扱い方針については、当社ホームページでご確認いただけます。

本情報は、2009年11月5日現在のものです。

●お問い合わせ・ご用命は…